

平成 27 年度 日本体育協会公認スポーツ栄養士養成講習会 受講の手引き

<目 次>

はじめに	p.1
公認スポーツ指導者養成の基本コンセプト、公認スポーツ栄養士について	p.2
受講の申込みから認定まで	p.3～7
受講の流れ	p.8～9
公認スポーツ栄養士養成講習会 カリキュラム	p.10～11
共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会 基本日程表	p.12
共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会 受講会場一覧／会場案内図	p.13～14
共通科目の免除概要及び受講料	p.15
受講希望者調書の記入について	p.16
受講希望者調書	p.17～18

受講番号	
氏 名	

※受講番号は、受講決定時に通知します。
 ※講習会参加の際は、この手引きを持参して下さい。
 ※この手引きは検定試験合格までお持ち下さい。

はじめに

近年の国際化、情報化、少子高齢化等の進展などによる急激な我が国の社会状況の変化とともに、私たち日本人の価値観やライフスタイルも大きく変わろうとしています。そのような中でスポーツは、人間の思考・言動の本源的欲求に応えるほか、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすとともに、社会生活に必要な人間の資質の形成などに重要な役割を果たすものであるという認識が高まっております。

このように、スポーツは、健康の増進や体力の向上のみならず、人間にとって生涯を生きていく上で不可欠な文化として、また、現代社会における高齢化の進展や生活習慣病の増加による医療費の増大、青少年の健全育成や体力低下の問題、余暇時間の増加など諸課題に対応するものとしての役割が期待されはじめています。

また、スポーツは、人間の可能性の極限を追求する営みであるという意義を有しており、競技者の極限へ挑戦するパフォーマンスは、スポーツへの関心を高め、スポーツの振興に寄与するとともに、すべての人々に夢や感動を与えるなど、健全で活力のある社会の形成にも貢献することが期待できます。したがって、21 世紀の社会において、国民一人ひとりの生活の中に、スポーツを位置づけたライフスタイル（スポーツライフスタイル）を構築することは大きな意義があります。

本会では、創立 100 周年を記念して 2011 年に公表した「スポーツ宣言日本—21 世紀におけるスポーツの使命—」の具現化に向けた取り組みを本格化していきます。これまでの国民スポーツ振興の基本理念であった「生涯スポーツ社会の実現」を包含しつつ、さらに一歩進めて新たに「スポーツ立国の実現」を掲げるとともに、それに基づく各種事業推進の方向性を示した新しいスポーツ推進方策を策定してまいります。

これからの 100 年に向けて、スポーツに携わるすべての方々や団体・組織等と連携・協力し、スポーツを通して「公正で福祉豊かな地域生活の創造」、「環境と共生の時代を生きるライフスタイルの創造」、「平和と友好に満ちた世界の構築」の 3 つのグローバル課題の達成に努める所存です。

これらの使命を達成するために、スポーツ指導者が果たす役割は極めて重要です。

スポーツは、あくまでもプレーする本人が、それぞれの目的のため、自主的・自発的に行うものであり、本人のやる気があるてはじめて行われるものです。スポーツ指導者は、プレーヤーのやる気を導き出し、自立したプレーヤーを育てることが一番重要となります。そして、その指導法は、スポーツ医・科学など様々な知識に裏付けられたものでなければなりません。

そのためにも、本会「公認スポーツ指導者制度」で定めるカリキュラムに基づき、スポーツ指導者としての能力を高めるとともに、常に自己研鑽に努め、社会的に信頼される指導者となり、これまで以上に我が国スポーツ振興の中核として活躍されることを期待します。

公益財団法人 日本体育協会

安全で、正しく、楽しいスポーツ活動の場を確保するために

(基本コンセプト)

日本体育協会及び加盟団体等は、「スポーツ立国」の実現を目指し、生涯を通じた「快適なスポーツライフ」の構築を図ることを通して、望ましい社会の実現に貢献するため、その推進の中心となるスポーツ指導者を養成する。

[日本体育協会公認スポーツ指導者とは]

日本体育協会及び加盟団体等が、公認スポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導者とは、常にプレーヤーを最優先するというスタンスに立ち、スポーツ医・科学の知識を活かし、「スポーツを安全に、正しく、楽しく」指導し、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることができる者である。

[望ましい公認スポーツ指導者とは]

公認スポーツ指導者は、日常の「生活／暮らし」にスポーツを取り入れることによって「豊かな人生」を得られることを広く一般に定着させるとともに、「仲間と楽しく行いたい」「うまくなりたい、強くなりたい」さらに「健康になりたい、長生きしたい」という欲求に応えられるよう、その実現に向けて「サポートする」活動を通して、望ましい社会の実現に貢献するという役割を持つ。

また、常に自己研鑽を図り、自ら成長・発展するとともに、社会的評価が得られるよう努力することが重要である。

安全で、正しく、楽しいスポーツ活動の場を確保するために

- ・ スポーツに対して情熱を持ち、常にプレーヤーを最優先し、何事にも前向きに取り組む
- ・ すべてのプレーヤーに対して常に公平な態度で接し、また活動に参加したくなるような雰囲気を作る
- ・ すべてのプレーヤーの個性や長所を見つけ、伸ばす
- ・ 一方的、強制的な指導にならないよう、コミュニケーションスキルを高め、活動のねらいや内容をプレーヤーと共有する
- ・ 発育発達段階や技能レベルに即して指導の内容と方法を工夫する
- ・ プレーヤーの健康状態に注意をはらい、ケガや病気を起こさないよう配慮する

※「スポーツ立国」：スポーツの持つ力が、望ましい地域社会の実現に貢献するとともに、スポーツに関わる自立・自律した人々の主体的かつ自治的なスポーツ実践や運動（ムーブメント）を通して、国内はもとよりアジア近隣諸国から地球規模へと広がることによって、「スポーツ宣言日本」が目指す社会像の実現に寄与していくこと。

公認スポーツ栄養士について

◆ 人材像

スポーツ活動における栄養・食事に関する専門的なサポートを担うための高い実践能力を有する人材

◆ 主催

公益財団法人 日本体育協会、公益社団法人 日本栄養士会

◆ 主管

特定非営利活動法人 日本スポーツ栄養学会

◆ 受講条件

受講申込年度の4月1日現在満22歳以上の管理栄養士で、スポーツ栄養指導の経験がある者または予定のある者のうち、日本体育協会及び日本栄養士会が認めた者。

◆ 受講者数

受講者数は、70名以内とする。

受講の申込みから認定まで

1. 受講の申込み

受講希望者は、下記申込期日までに申込必要書類をご送付ください。受講希望者調書における記入漏れや所定の提出方法にて提出されなかった場合は、受講申込者として取り扱わないため、十分ご注意ください。

【申込必要書類】

- ・ 受講希望者調書 (p.17～18)
- ・ 管理栄養士免許証の写し
- ・ スポーツ栄養ベーシック講習会修了証の写し (※修了者のみ)
- ・ 共通科目免除証明書類写し (※免除申請者のみ 受講決定後の申請はできません)

【申込期間】

平成 27 年 3 月 9 日 (月) ～ 3 月 23 日 (月) ※当日消印有効

【書類送付先】

〒238-8522

神奈川県横須賀市平成町 1 丁目 10 番 1

神奈川県立保健福祉大学 栄養学科 鈴木志保子研究室

NPO 法人日本スポーツ栄養学会 宛

TEL : 080-3576-5152

【提出に際しての留意事項】

- ・ p.16 記載の『公認スポーツ栄養士養成講習会「受講希望者調書」の記入について』を必ずご確認ください。
- ・ 提出に際しては、必ず日本郵便の『レターパックプラス (510 円)』をご使用ください。
※『レターパックライト』は使用不可。
- ・ 品名欄に「公認スポーツ栄養士受講申込書在中」とご記入ください。

◆注意事項◆

受講有効期限は、受講開始年度を含め 5 年間です。
他の本会公認スポーツ指導者資格との同時受講はできません。

2. 受講者の決定

日本体育協会（以下「本会」）では、日本スポーツ栄養学会から提出された受講希望者調書等の各種関係書類を確認後、全ての受講希望者へ審査結果を送付いたします。なお、受講決定者には下記の書類を併せて送付いたします。

受講決定者は、併せて日本体育協会が運営する指導者マイページ（インターネット上のサービス）にご登録下さい。指導者マイページから住所変更手続きや受講状況の確認が行え、また、養成講習会修了後の登録手続きが同じ指導者マイページより行えます。

【送付内容】

- ・ 受講決定通知兼共通科目集合講習会受講会場決定通知
- ・ 受講者証（講習会参加時まで顔写真を必ず貼付ください）
- ・ 受講料納入方法
- ・ 共通科目受講会場変更届
- ・ 受講辞退連絡方法
- ・ 指導者マイページ登録方法

3. 受講料の納入

受講料の納入方法・期日については、受講決定者に別途お知らせいたします。なお、所定の期日までに受講料を納入いただけない場合は、受講決定を取り消します。

【受講料】 38,880 円（共通科目：19,440 円／専門科目：19,440 円）※税込

- ※ 共通科目の免除対象者は、p.15 の「免除概要及び受講料」にて受講料または免除審査料を予めご確認ください。
- ※ 専門科目カリキュラム「①スポーツ栄養士に必要な基礎的知識」（p.11 参照）については、別途受講料が必要となります。
- ※ 納入後の返金はいたしませんので、予めご承知おきください。
- ※ 専門科目の再試験受験料は、別途、口頭試問（筆記試験）受験料一回当たり 15,000 円＋消費税、プレゼンテーション受験料一回当たり 30,000 円＋消費税を徴収します。

4. 共通科目の自宅学習とワークブックの提出

受講料の納入確認後、受講決定者へ共通科目テキストおよびワークブックを送付します。共通科目Ⅰまたは共通科目Ⅰ・Ⅱが免除の方にも、全科目のテキストを送付します。

教材が届きましたら自宅学習を進めてください。集合講習会では、テキストおよびワークブックを用いて予め自宅学習をしていることを前提に進めます。講習会講師は、テキストに沿って詳しい内容を説明・解説し、新しい情報を伝えるような講義をいたします。

ワークブックはテキストに沿って作成したもので、解答や解説はございません。自宅学習用としてご活用ください。質問がある場合は、講習会時に講師へお尋ね下さい。

共通科目Ⅰが免除でない方は、共通科目Ⅰワークブックを集合講習会時（初日オリエンテーション終了後）にご提出いただきます。ご提出がないと共通科目検定試験を受験することができません。

共通科目Ⅱ、Ⅲワークブックの提出は不要ですが、集合講習会までに学習を進めるようにしてください。

5. 受講の開始

受講については、共通科目の全講義を受講後、専門科目を受講していただくこととなります。また、専門科目講習会受講時まで、日本スポーツ栄養学会が実施する「スポーツ栄養ベーシック講習会」を受講してください。

1) 共通科目集合講習会について

(1) 受講形態

共通科目については、集合講習会と自宅学習により構成されています。カリキュラムは、本書 p.10~11 をご覧ください。

(2) 受講会場

- ・ 共通科目集合講習会は、全 10 会場設定されており、各会場の会期は p.12 のとおりとなっております。
- ・ 共通科目の受講については、原則として全講義を同一会場で受講いただきます（部分受講はできません）。
- ・ 受講会場については、受講申込時に提出された「受講希望者調書」（第 1・2 希望まで記入）により本会で調整の上、受講決定通知において各受講者宛に通知いたします。なお、各会場の収容能力に応じて受講者数を本会で調整するため、必ずしも第 1 希望に添えない場合もございますので、ご承知おきください。

(3) 受講にあたって

- ・ 講習会の参加にあたっては、下記の物を必ずご持参ください。
 - ①受講者証（写真貼付）
 - ②共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲテキスト及びワークブック
 - ③筆記用具
 - ④受講の手引き（本書）
 - ⑤上着（冷房対策で必要の方）
- ・ 講習会は p.12 の基本日程表に従って進みます。遅刻・早退は講義欠席と同様に取り扱います。但し、公共交通機関が遅延した場合は、遅延証明書をお持ちください。
- ・ 受講会場の変更及び受講キャンセルについては、受講決定通知に同封される「受講会場変更届」により、必ずご連絡ください。無断で講義を欠席した場合、以後の受講をお断りすることがあります。
- ・ やむを得ず、本年度受講できなくなった場合は、平成 28 年 3 月頃に本会より次年度の受講案内を送付いたします。
- ・ 「受講希望者調書」に記載した住所等が変更した場合は、指導者マイページより必ずご連絡ください。
- ・ 講習会参加のための交通・宿泊については、自己手配・自己負担となります。宿舍の斡旋はしておりません。車でのご来場はご遠慮ください。
- ・ 共通科目の免除と受講必要講義については、下記のとおりです。
 - 免除科目なし／共通科目Ⅰ免除……………初日から最終日まで（計 15 講義）
 - 共通科目Ⅰ・Ⅱ免除……………2 日目から最終日まで（計 12 講義）
- ・ 本講習会の受講有効期限内に他の本会公認資格の受講はできません。

2) 共通科目検定試験について

共通科目検定試験は、集合講習会とは別に検定試験日を設定して実施します。検定試験の受験資格は、下記条件を満たした方となります。申込用紙は共通科目受講会場で配布いたします。

(1) 受験資格

- ・ 共通科目集合講習会の全講義を受講した方
- ・ （共通科目Ⅰが免除でない方は）共通科目Ⅰワークブック提出者

(2) 検定試験予定時期および会場地（予定）

- ・ 平成 28 年 2 月初旬（東京、大阪、福岡）
 - ・ 平成 28 年 3 月中旬（仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡）
 - ・ 平成 28 年 5 月中旬（東京、大阪）
- ※あくまでも予定ですので、上記の時期・会場から変更する場合があります。
- ※2 月と 3 月の試験を同一年度に受験することはできません。
- ※2 月または 3 月の試験で不合格となった場合は、5 月の受験が可能です。

(3) 検定試験問題出題先

検定試験問題は、公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲテキストをベースに出題します。

(4) 検定試験方式及び配点等

検定試験方式については、四肢択一のマークシート方式です。なお、受験科目区分ごとの配点等については下表のとおりです。

受験科目区分	配分				合格基準 (総得点／満点)
	共通Ⅰ	共通Ⅱ	共通Ⅲ	合計	
共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	50 問	50 問	100 問	200 問	120 点以上／200 点
共通科目Ⅱ・Ⅲ	—	50 問	100 問	150 問	90 点以上／150 点
共通科目Ⅲ	—	—	100 問	100 問	60 点以上／100 点

(5) 共通科目の検定試験結果

共通科目の検定試験結果は、本会より受講者へ直接通知いたします。

3) 専門科目集合講習会について

- ・ 専門科目講習会の開催案内は、平成 27 年 10 月初旬に日本スポーツ栄養学会より送付されます。
- ・ 専門科目の判定は日本スポーツ栄養学会が行い、日本栄養士会での審査を経て、本会に報告されます。なお、成績通知は日本スポーツ栄養学会より受講者へ直接通知いたします。

6. 総合判定結果通知について

共通科目・専門科目の検定結果は、平成 28 年 6 月下旬頃を目処に通知します。

1) 共通科目・専門科目ともに修了の場合

→「7. 登録手続き」をご覧ください。

2) 共通科目・専門科目が不合格（未修了）の場合

【共通科目が不合格（未修了）の場合】次年度以降の検定試験を受験ください。

※専門科目講習会の受講は可能です。

【専門科目が不合格（未修了）の場合】日本スポーツ栄養学会よりご連絡いたします。

3) 共通科目・専門科目講習会が未受講の場合

【共通科目が未受講の場合】平成 28 年 2 月頃、本会より受講の案内をお送りいたします。

※共通科目の受講を終えていないため、専門科目の受講はできません。

【専門科目が未受講の場合】日本スポーツ栄養学会よりご連絡いたします。

4) 留意事項

受講有効期限は 5 年間です。有効期限内に共通科目及び専門科目の各講習会を受講し、検定試験に合格する必要があります。有効期限内に修了とならなかった場合は、受講有効期限切れとなり、受講資格が失効いたしますので十分ご注意ください（受講実績も取り消し）。

受講有効期限内に受講を辞退する場合は、日本スポーツ栄養学会へお問い合わせください。

7. 登録手続き

共通科目と専門科目の双方の検定試験に合格された方は、本養成講習会修了者となり、7月下旬～8月上旬に登録の案内を送付いたします。書類が届きましたらその内容に基づき、登録申請のお手続きをお願いします。

この手続きをされないと公認スポーツ栄養士に認定されませんのでご注意ください。

【登録料について】

- ・ 初年度の登録料 18,000 円（4年間）
- ・ 4年後の更新時の登録料 15,000 円（4年間）

<内訳> 基本登録料：10,000 円、資格別登録料：5,000 円、新規登録料（初期登録時のみ）：3,000 円

8. 資格認定

上記7の手続きをされた方は、本養成講習会を修了した年の10月1日付で公認スポーツ栄養士として認定され、本会より「認定証」と「登録証」を送付いたします。

なお、資格の有効期限は4年間となり、資格を更新するためには有効期限の切れる6ヶ月前までに日本スポーツ栄養が認める研修会を受講することが義務付けられております。この義務研修を受講されていない場合、資格を更新することができず資格を失効することとなります。

9. 各種お問合せ先

<専門科目を除く講習会に関するお問合せ先>

公益財団法人日本体育協会 スポーツ指導者育成部 公認スポーツ栄養士 係

TEL：03-3481-2226 FAX：03-3481-2284

【お問合せ時間】平日 9:00～17:30（12:00～13:00を除く）

<専門科目に関するお問合せ先>

特定非営利活動法人 日本スポーツ栄養学会

TEL：080-3576-5152 E-mail：sports-d@jsna.org

※平成25年12月6日付で、日本スポーツ栄養研究会より名称変更しました

受講の流れ

●申込書類の入手【H27年2月～3月】

＜募集資料＞ ①募集に係る資料 ②受講の手引き

1. 受講申込み 【申込期間】平成27年3月9日(月)～3月23日(月) ※当日消印有効

＜提出書類＞ ①受講希望者調書 ②管理栄養士免許証の写し ③ベーシック講習会修了証の写し（修了者のみ）
④共通科目免除証明書類写し（免除申請者のみ）

＜提出先＞ 日本スポーツ栄養学会

2. 受講者の決定【H27年4月下旬頃】

＜送付資料＞①受講決定通知兼共通科目集合講習会受講会場決定通知 ②受講カード ③受講料納入関係書類 他

3. 受講料の納入

共通科目・専門科目受講料の納入 ※納入期日厳守。
※併せて指導者マイページの登録

4. テキスト・ワークブックの送付【H27年5月下旬～6月頃】

＜送付資料＞ 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲテキストおよびワークブック

●共通科目事前学習

共通科目集合講習会は事前学習を行っていることを前提に進む。教材が届き次第、各自自宅での学習を進める。
なお、共通科目の免除がない方は、共通科目集合講習会初日に『共通科目 I ワークブック』を提出。

5. 共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会の受講【H27年7月下旬～11月】

受講にあたっての詳細は受講決定通知の際に連絡

※「共通科目集合講習会」または「スポーツ栄養ベーシック講習会」が未受講の場合は、専門科目の受講不可。

【受験条件】

- ・ 共通科目講習会全講義出席者
- ・ 共通科目Ⅰワークブック提出者（共通科目Ⅰ免除者を除く）

●共通科目検定試験受験申込み【講習会受講終了～所定期日】

H28年2月・3月・5月に開催される検定試験への申込み。

●共通科目検定試験

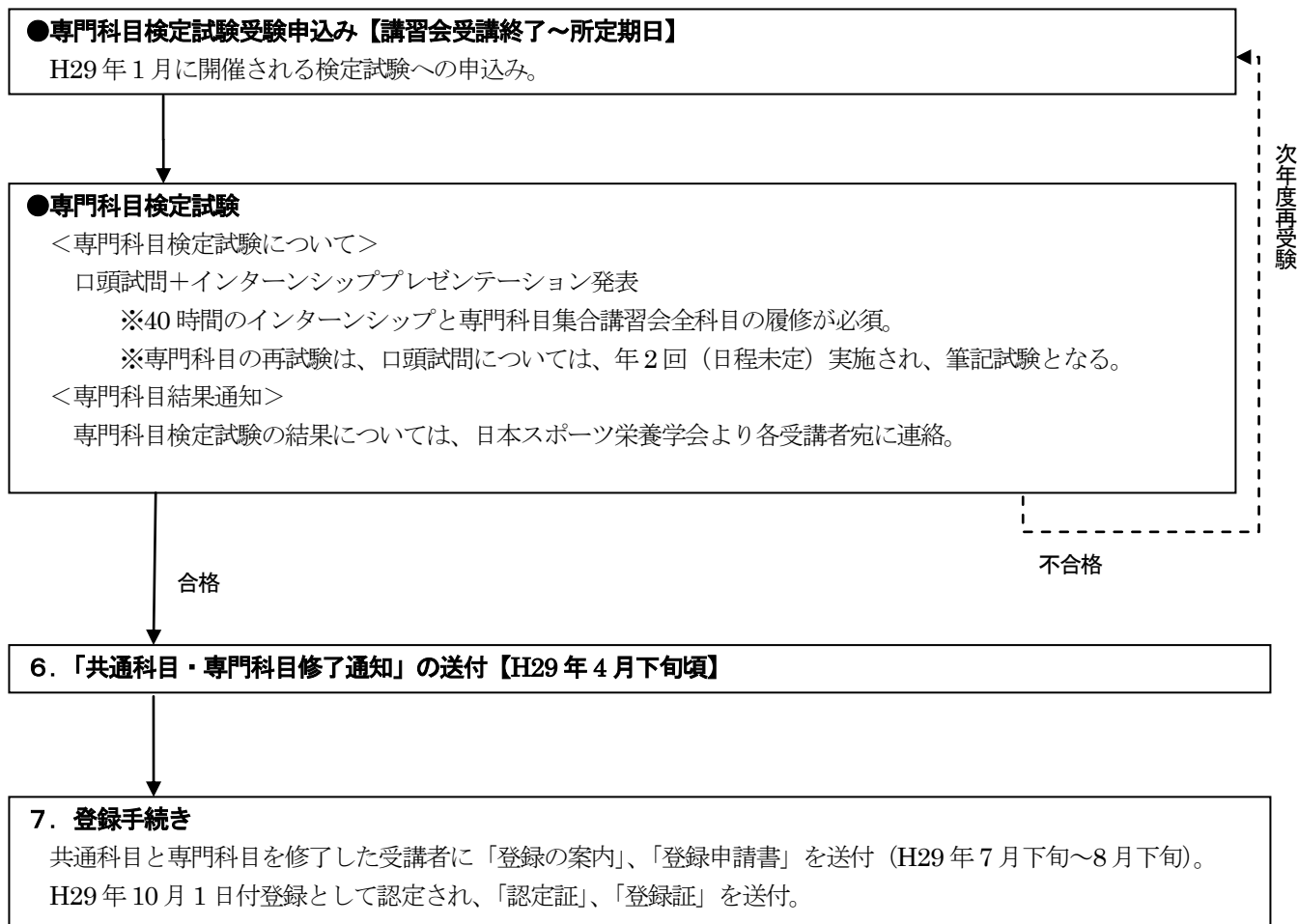
※検定試験に係る詳細については、集合講習会において連絡。

合格

不合格

●専門科目集合講習会の受講

専門科目講習会については、日本スポーツ栄養学会が計画、実施。講習会の開催期日・会場等詳細は、別途日本スポーツ栄養学会より各受講者宛に連絡（H27年10月初旬頃発送予定）。



公認スポーツ栄養士養成講習会 カリキュラム

＜共通科目＞

	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目Ⅰ	文化としてのスポーツ	スポーツの概念と歴史	0	3.75	3.75
		文化としてのスポーツ			
	指導者の役割Ⅰ	スポーツ指導者とは	0	5	5
		スポーツ指導者の倫理			
		指導者の心構え・視点			
		世界の舞台をめざすアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割			
	トレーニング論Ⅰ	体力とは	0	3.75	3.75
		トレーニングの進め方			
		トレーニングの種類			
	スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅰ	スポーツと健康	0	7.5	7.5
		スポーツ活動中に多いケガや病気			
		救急処置			
	スポーツと栄養	スポーツと栄養	0	2.5	2.5
	指導計画と安全管理	指導計画の立て方	0	3.75	3.75
		スポーツ活動と安全管理			
	ジュニア期のスポーツ	発育発達期の身体的特徴、心理的特徴	0	5	5
		発育発達期に多いケガや病気			
		発育発達期のプログラム			
	地域におけるスポーツ振興	地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり	0	3.75	3.75
		総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義			
		地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」			
			0	35	35

	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目Ⅱ	社会の中のスポーツ	社会の中のスポーツ	2	3	5
		我が国のスポーツプロモーション			
	スポーツと法	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任	2	3	5
		スポーツと人権			
	スポーツの心理Ⅰ	スポーツと心	3	4.5	7.5
		スポーツにおける動機づけ			
		コーチングの心理			
	スポーツ組織の運営と事業	総合型地域スポーツクラブの育成と運営	0	10	10
		スポーツ組織のマネジメントと事業のマーケティング			
		スポーツ事業のプロモーション			
	対象に合わせたスポーツ指導	中高年者とスポーツ	0	7.5	7.5
		女性とスポーツ			
		障害者とスポーツ			
			7	28	35

公認スポーツ栄養士養成講習会カリキュラム

	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目Ⅲ	指導者の役割Ⅱ	プレーヤーと指導者の望ましい関係	3	4.5	7.5
		ミーティングの方法			
		世界の頂点をめざすアスリートの育成・強化の在り方と指導者の役割			
	アスリートの栄養・食事	アスリートの栄養摂取と食生活	2	3	5
	スポーツの心理Ⅱ	メンタルマネジメントとは	4	6	10
		リラクゼーション			
		イメージトレーニング			
		集中力のトレーニング			
		心理学コンディショニング			
		あがり、スランプの克服			
		指導者のメンタルマネジメント			
	身体のかみと働き	運動器のかみと働き	4	6	10
		呼吸循環器系のかみとエネルギー供給			
		スポーツバイオメカニクスの基礎			
	トレーニング論Ⅱ	トレーニング理論と方法論	8	12	20
		トレーニング計画とその実際			
		体力テストとその活用			
		スキルの獲得とその獲得過程			
	競技者育成のための指導法	トップアスリートを育てるために～指導者が持つべき視点～	4	6	10
		トップアスリートの育成・強化の方法とその評価			
		競技力向上のためのチームマネジメント			
		競技力向上のための情報とその活用			
	スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅱ	アスリートの健康管理	8	12	20
		アスリートの内科的障害と対策			
		アスリートの外傷・障害と対策			
		アスレティック・リハビリテーションとトレーニング計画			
		コンディショニングの手法			
スポーツによる精神障害と対策					
特殊環境下での対応					
ドーピング防止					
			33	49.5	82.5

＜専門科目＞

内容	時間数
1) スポーツ栄養士に必要な基礎的知識	16.5
2) スポーツ栄養士の役割	1
3) スポーツ栄養マネジメント(講義)	4
4) スポーツ栄養アセスメント(講義・実習)	15
5) 食事管理(講義・演習)	3
6) 食事・栄養指導法(講義・演習)	22
7) スポーツ医学(講義)	10
8) 運動生理・生化学(講義)	3
9) エビデンス ベースト スポーツニュートリション(講義)	2
10) インターンシップ	40
	116.5

※「1) スポーツ栄養士に必要な基礎的知識」については、日本スポーツ栄養学会が実施する「スポーツ栄養ベーシック講習会」(受講料別途)を受講すること。

平成 27 年度共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会 基本日程表

時刻	共通科目Ⅱ		共通科目Ⅲ			時刻	
	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目		
9:00						9:00	
9:30	9:30～10:00 受付	指導者の役割Ⅱ①(2h)	身体のおくみと働き①(2h)	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ (内科:4h)	トレーニング論Ⅱ①(4h)		
10:00	10:00 オリエンテーション 10:10 協賛社情報提供 10:40 指導者制度ガイダンス 10:50 共通科目Ⅰワークブック回収	・プレーヤーと指導者の望ましい関係 ・ミーティングの方法	・運動器のおくみと働き				
11:00	休憩 11:00～11:10	指導者の役割Ⅱ②(1h)	休憩 11:00～11:10				
11:10	社会の中のスポーツ(2h)	・スポーツ指導における暴力問題	身体のおくみと働き②(2h)			・アスリートの健康管理 ・アスリートの内科的障害と対策 ・スポーツによる精神障害と対策 ・特殊環境下での対応 ・ドーピング防止	・トレーニング理論とその方法 ・トレーニング計画とその実際
12:00		・社会の中のスポーツ ・我が国のスポーツプロモーション	<休憩> 12:00～13:00	・呼吸循環器系の働きとエネルギー供給 ・スポーツバイオメカニクスの基礎			
13:00							
13:10	<休憩> 13:10～14:10	アスリートの栄養・食事(2h)	<休憩> 13:10～14:10	<休憩> 13:00～14:00	<休憩> 13:00～14:00		
14:00		・アスリートの栄養摂取と食生活				13:00	
14:10	スポーツと法(2h)		競技者育成のための指導法①(2h)	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ (外科:2h)	トレーニング論Ⅱ②(4h)	14:00	
15:00	・スポーツ事故における スポーツ指導者の法的責任 ・スポーツと人権	休憩 15:00～15:10	・競技力向上のための チームマネジメント ・競技向上のための情報とその活用	・アスリートの外傷・障害と対策		・体カテストとその活用 ・スキルの獲得とその獲得過程	14:10
15:10		スポーツの心理Ⅱ(3h)					15:00
16:00		・メンタルマネジメント ・リカセーション ・イメージトレーニング ・集中力のトレーニング ・指導者のメンタルマネジメント		休憩 16:00～16:10			15:10
16:10	休憩 16:10～16:20		休憩 16:10～16:20	スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ (AT:2h)		16:00	
16:20		スポーツの心理Ⅰ(3h)	競技者育成のための指導法②(3h)			16:10	
17:10		・心理的コディショニング ・あがりスランプの克服 ・指導者のメンタルマネジメント	・トップアスリートを育てるために ～指導者が持つべき視点～ ・トップアスリート育成・強化の方法とその評価 ※指導者の役割Ⅱ「世界の頂点をめざすアス リートの育成・強化の在り方と指導者の役割」 を含む	・アスレティックハビリテーションとトレーニング計画 ・コディショニングの手法		17:10	
18:00	・スポーツと心			18:10～18:30 検定試験に関する説明		17:20	
18:10	・スポーツにおける動機づけ ・コーチングの心理					18:00	
18:30						18:10	
19:20						18:30	
						19:20	

- 第1日目の講義は共通科目Ⅱの部分です。共通科目Ⅱが免除の方は、1日目のオリエンテーション等への出席は不要ですので、2日目より受講ください。
- 共通科目Ⅰが免除の方は、講習会における免除はございませんので、1日目から受講ください。
- 第5日目は、講義終了後に事務連絡をし、その後解散となります。
- 原則として基本日程表通りに講義は進みます。遅刻・早退は講義欠席と同様に取り扱います。
- この基本日程表は予定のため、変更になる場合がございます。

平成 27 年度共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会 受講会場一覧

会場番号	都市	期 日	会 場 名
第 1 会場	東京	7 月 19 日(日)～7 月 23 日(木)	KFCホール 〒136-0075 東京都墨田区横網 1-6-1 Tel03-5610-5801
第 2 会場		8 月 21 日(金)～8 月 25 日(火)	ベルサール神田 〒101-0053 東京都千代田区神田美土町 7 住友不動産神田ビル2F Tel03-5281-3053
第 3 会場		9 月 25 日(金)～29 日(火)	KFCホール 〒136-0075 東京都墨田区横網 1-6-1
第 4 会場		11 月 1 日(日)～11 月 5 日(木)	Tel03-5610-5801
第 5 会場	名古屋	11 月 21 日(土)～11 月 25 日(水)	TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK 名駅前ビル Tel052-569-5020
第 6 会場	大阪	8 月 7 日(金)～8 月 11 日(火)	チサンホテル新大阪 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 6-2-19 Tel06-6302-5571
第 7 会場		9 月 12 日(土)～9 月 16 日(水)	
第 8 会場		10 月 2 日(金)～10 月 6 日(火)	
第 9 会場	福岡	7 月 30 日(木)～8 月 3 日(月)	TKP ガーデンシティ博多 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 3-4-8 サトトンホテル博多シティ 5 階 Tel092-474-5145
第 10 会場		10 月 23 日(金)～10 月 27 日(火)	

(注) 5 日間すべての講義を出席可能な会場をお選びください

平成 27 年度共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会 会場案内図

第1、3、4会場 KFCホール

住所	〒136-0075 東京都墨田区横網1-6-1
交通	JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約6分。 地下鉄：都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出入口に直結。
TEL	03-5610-5801

第5会場 TKP名古屋駅前カンファレンスセンター

住所	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK名駅前ビル
交通	JR名古屋駅から徒歩約5分、地下鉄名古屋駅から徒歩約3分。
TEL	052-569-5020

平成 27 年度共通科目Ⅱ・Ⅲ集合講習会 会場案内図

第2会場 ベルサール神田

住所	〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル2F
交通	JR線「神田駅」北口より徒歩約7分。 新宿線「小川町駅」B6出口より徒歩約2分。 千代田線「新御茶ノ水駅」B6出口より徒歩約2分。 丸ノ内線「淡路町駅」A6出口より徒歩約3分。
TEL	03-5281-3053



第6～8会場 チサンホテル新大阪

住所	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19
交通	JR新大阪駅から徒歩約6～7分、地下鉄御堂筋線新大阪駅から徒歩約5分、地下鉄御堂筋線西中島南方駅から徒歩約5分、阪急京都線南方駅から徒歩約5分。
TEL	06-6302-5571



第9、10会場 TKPガーデンシティ博多

住所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-4-8
交通	JR/地下鉄博多駅博多口から徒歩約5分。
TEL	092-474-5145



共通科目の免除概要及び受講料

共通科目	保有資格	受講料・免除審査料	免除内容	提出書類	備 考
1. 共通科目 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	(1) 日本体育協会公認上級コーチ/上級教師 (2) 日本体育協会公認以外の他団体認定の上級教師 (3) 日本オリンピック委員会ナショナルコーチアカデミー修了者	全額免除 3,240円 全額免除	共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ 集合講習・検定課題の免除	登録証(写) 修了証(写)	資格が登録有効期限内であること
2. 共通科目 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	(1) 日本体育協会公認スポーツトレーナー2級 (2) 日本体育協会公認スポーツトレーナー1級 (3) 日本体育協会公認コーチ (4) 日本体育協会公認教師 (5) 日本体育協会公認フィットネストレーナー(SP2種) (6) 日本体育協会公認アスレティックトレーナー (7) 日本体育協会公認以外の他団体認定教師 (8) 免除適応コース(共通Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)修了証明書保有者 (9) 公認コーチ/教師(C・B級含む)・AT・スポーツ栄養士 受講歴がある者で共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ修了者	3,240円 全額免除 3,240円 全額免除	共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ 自宅学習・集合講習の免除 (共通Ⅲの試験のみ必須) 共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ 自宅学習・集合講習・試験の免除	登録証(写) 修了証明書(写)	資格が登録有効期限内であること
3. 共通科目 Ⅰ・Ⅱ	(1) 日本体育協会公認上級指導員 (2) 日本体育協会公認スポーツプログラマー (3) 免除適応コース(共通Ⅰ・Ⅱ)修了証明書保有者 (4) レクリエーションコーディネーター(H12年度以前取得者) 【日本レクリエーション協会】 (5) 健康運動指導士【健康・体力づくり事業財団】	19,440円	共通科目Ⅰ＋Ⅱ 自宅学習・集合講習・試験の免除 注) 共通科目Ⅰ～Ⅲすべてのテキストを送付します	登録証(写) 修了証明書(写) 登録証(写)	資格が登録有効期限内であること
4. 共通科目Ⅰ	(1) スポーツリーダー ※スポーツ少年団認定員を含む (2) 日本体育協会公認指導員 (3) 日本体育協会公認ジュニアスポーツ指導員 (4) 日本体育協会公認アシスタントマネジャー (5) 日本体育協会公認クラブマネジャー (6) 野外活動指導者(ディレクター1級) (7) レクリエーションコーディネーター(H13年度以降取得者) 【日本レクリエーション協会】 (8) 一部の免除適応コース承認校(大学)を卒業	19,440円	共通科目Ⅰ 自宅学習・集合講習会・試験の免除 注) 共通科目Ⅰ～Ⅲすべてのテキストを送付します	認定証(写) 登録証(写) 卒業証明書(写)※	資格が登録有効期限内であること 平成17年度以降の卒業生であること

- 保有資格により、共通科目課程の免除できる範囲が異なりますのでご注意ください。
- 共通科目の免除申請をする方は、「受講希望者個人調書」に記入の上、上記該当の提出書類を添付してご提出ください。
- 共通科目ⅠもしくはⅡが免除の場合でも、共通科目Ⅰ・Ⅱのテキストおよびワークブックを送付するとともに、共通科目の受講料は19,440円となります。
- 本会免除適応コース承認校のうち、一部の大学・学部の卒業生は共通科目Ⅰが免除になります(上表「4. 共通科目Ⅰ」(8))。詳細は、本会 HP『免除適応コース承認校(分類 A・B) 卒業生に対する免除対応について』をご参照ください。

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/226/Default.aspx#kyoutsuukamoku01>

※ 提出書類:『共通科目Ⅰ 免除承諾』印が押された卒業証明書の写し

- 平成16年度以前の「共通科目免除適応コース修了証明書」をお持ちの方の免除は下表のとおりです。をお持ちの修了証明書で免除となる部分をご確認ください。

平成16年度以前の「免除適応コース修了証明書」の種類		免除科目		
		共通科目Ⅰ	共通科目Ⅰ・Ⅱ	共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
1	C級スポーツ指導員/少年スポーツ指導員	○		
2	C・B級スポーツ指導員/スポーツプログラマー/少年スポーツ指導員/少年スポーツ上級指導員	○	○	
3	C級教師/C級コーチ/フィットネストレーナー	○	○	○
4	C・B級教師/C・B級コーチ/アスレティックトレーナー/フィットネストレーナー	○	○	○
5	C級コーチ	○	○	○
6	C・B級コーチ/アスレティックトレーナー	○	○	○
7	C級スポーツ指導員・少年スポーツ指導員・スポーツプログラマーⅠ期 共通科目修了証明書	○		
8	C・B級コーチ共通科目修了証明書	○	○	○

「受講希望者調書」の記入について

手引きを熟読し、講習会の内容・流れを十分ご理解・ご了承の上、お申込みください。

【受講希望者調書記入に際しての留意事項】

- ① ワードのファイルを利用して作成する場合には、調書は予め2ページで作成されていますので、項目や項目ごとの設定を変更しないでください。記載に際し、文字の大きさを9ポイント以上としてください。記入漏れ、設定が変更されている調書は、受け付けないこともありますので、ご注意ください。
手書きの場合は、楷書でご記入ください。
- ② 共通科目の受講を希望する会場の会場番号をご記入ください。なお、会場の収容能力等によりご希望に添えない場合もありますので、必ず第2希望までご記入ください。
- ③ 共通科目免除申請については、p.14 の免除概要及び受講料をご確認ください。なお、共通科目免除を申請される方は、免除証明書類の写しを必ず添付ください。また、本会公認スポーツ指導者として既に登録されている方は、該当指導者資格の登録番号・登録有効期限を必ずご記入ください。
- ④ 推薦書等の別添書類は受け付けません。調書に同封されていた場合には、受け付けた時点で破棄させていただきます。
- ⑤ 調書の署名欄は、自署でご記入ください。
- ⑥ 必要事項の記入及び書類の整備ができましたら、**必ず日本郵便『レターパック 510』を使用し（レターパックライトは使用不可）**、下記送付先へお送りください。なお、送付いただいた受講希望者調書等各種書類につきましては、返還いたしませんので予めご了承ください。

【申込期間】

平成 27 年 3 月 9 日（月） ～ 3 月 23 日（月）

- ※ 当日消印有効
- ※ 申込期間外の消印で到着した書類（免除書類含む）は一切受け付けません。

【書類送付先】

〒238-8522

神奈川県横須賀市平成町1丁目10番1号

神奈川県立保健福祉大学 栄養学科 鈴木志保子研究室

日本スポーツ栄養学会 宛 (TEL : 080-3576-5152)

- ※ 日本郵便『レターパック **プラス** (510 円)』を使用しお送りください。
- ※ 品名欄に『公認スポーツ栄養士受講申込書在中』とご記入ください。

- ⑦ 本講習会受講に際し取得した個人情報、本講習会の運営・管理および諸連絡以外には使用いたしません。なお、合格者情報については、ご本人様の了承を得た上で、次のとおり扱います。

【合格者情報の公開について】

本講習会を全て修了された方の氏名、所属都道府県を本会公認スポーツ指導者制度及び指導者本人の社会的認知度の向上等のため、本会 HP 上での公開とともに報道機関へ情報提供（プレスリリース）させていただきます。

- ⑧ 携帯アドレスについては、講習会や検定試験開催期間中などにおいて、災害発生の際携帯電話の通話ができなくなった場合に連絡するためのものであり、通常の連絡で使用することはありません。

平成27年度 公認スポーツ栄養士養成講習会 受講希望者調書

※太枠内の事項すべてをご記入ください。記入漏れがある場合や設定が変更された調書は受け付けいたしません。十分ご注意ください。

フリガナ		性 別	生年月日/年齢(H27 年 4 月 1 日時点)	
氏 名		男 ・ 女	西暦 19 年 月 日(満 歳)	
連絡先 ※住所は都道府県 から記載ください	〒	TEL	-	
		FAX	--	
		携帯番号	--	
e-mail		携帯アドレス		
勤 務 先	<勤務先名> 〒	TEL	- -	
		FAX	- -	
		E-mail		
日中連絡のとれる連絡先(携帯可)		- -		
合格者情報の掲載・提供について ※氏名・資格名・所属都道府県を掲載・提供します。 ※詳細については、P.13 をご参照ください。		日体協 HP 並びに報道機関各所 への情報掲載・提供を 了承する ・ 了承しない		
共通科目受講希望会場 ※免除の有無に関わらず全員記入ください ※必ず第 2 希望までご記入ください		第 1 希望会場番号		第 2 希望会場番号
		第 会場		第 会場
最終学歴		西暦 年 月 卒業・修了		
日本スポーツ栄養学会	会員(番号:) 非会員	日本スポーツ栄養学会「スポーツ栄養 ベーシックコース講習会」修了の有無 ※ 修了証明書のコピーを添えてご提出ください		有 ・ 無
日本栄養士会	会員(番号:) 非会員	管理栄養士免許状 ※ 管理栄養士免許状のコピーをご提出ください		有 ・ 無

■ 共通科目免除申請

免除を希望 する ・ しない	「する」に○した方は、下記事項を記入ください。		
1. 日本体育協会公認資格有資格者	資格名()	登録番号()	有効期限: 年 月 日
2. 免除適応コース共通科目修了証明書取得者			
3. その他()			

※免許申請者は、必ず免除証明書類の写しを添えてご提出ください。証明書類の添付がない場合は免除対象といたしません。

■ 公認スポーツ栄養士 過去の受講歴

共通科目	講習会未受講 ・ 試験未受験 ・ 試験修了(合格) ・ 未修了(不合格) ・ 免除
専門科目	講習会未受講 ・ 検定試験未受験 ・ 修了(合格) ・ 未修了(不合格)

■ 公認スポーツ栄養士 受講動機

--

※携帯アドレスについては、講習会や検定試験開催期間中などにおいて、災害発生の際携帯電話の通話ができなくなった場合に連絡するためのものであり、通常の連絡で使用することはありません。

■公認スポーツ栄養士資格取得後の活動予定(※詳細に記入されていない場合は、選考対象外となります。)

■ 管理栄養士の資格取得後のスポーツ現場等での主だった栄養サポート活動経歴についてお答えください(※詳細に記入すること)

活動期間	項目	活動対象	主たる活動場所	主たる活動内容
<記載例> 2010年4月～ 2011年3月	①講演・セミナー ②サポート ③個人指導 ④その他 ②	〇〇県国体 代表バドミントンチーム	強化合宿会場	<記載内容の目安> ・栄養サポートを実施する上での立場を記載の上、集団および個人指導などの活動内容を詳細に記載してください。 ・〇〇県体育協会医科学スタッフ 4月 アセスメント(食事調査、身体計測) 5月 4月の結果を基に個別の栄養教育・相談を行い、以降2カ月に1回、アセスメントを行い必要に応じて適宜個別指導を行った。 ※記入の際記載例について削除し提出ください。

公認スポーツ栄養士養成講習会は国庫補助事業です。受講の許可を得た者は公認スポーツ栄養士資格を取得することが前提となります。養成期間を含め5年以内に講習会を受講し、検定試験を受験することに同意しますか。

☐同意する・☐同意しない (あてはまる☐にチェックしてください) また、上記のとおり相違ありません

平成 年 月 日

署名(自署)